

石川県剣連だより 剣風春秋

第51号

一発行一



一般財団法人 石川県剣道連盟

〒920-0811
金沢市小坂町西57-3 KSハイツ205号室
TEL 076-253-0310 FAX 076-253-0341
E-mail:ishikawa-kendo@iaa.itkeeper.ne.jp
URL www://ishikawa-kendo.com

特集 女性の活躍



女性委員会委員長
岩脇 律子
(教士七段)

明けましておめでとうございませう。会員の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。コロナ禍でまだまだ制約があり、女性剣道においても仲間との交流の機会が減少しており、寂しく感じています。それでも、今年度は石川県女性剣道においては大変実り多き一年となりました。その足跡をふり返つてみます。

一 県下女子剣道大会

33人1チーム。3ないし4チームでリーグ戦後、リーグ1位チームで決勝トーナメントを行いました。学生時代本格的に稽古を積んで

きた選手、子育て真っ最中の選手、子育て一段落りバイバル選手、お孫さんがいらつしやる選手等、年齢も経験も様々。試合場を離れば、とても和やかに交流する姿が見られました。試合は真剣そのもので、決勝トーナメントともなれば、見応えのある試合が展開されました。

二 全国都道府県剣道大会

今回から7人戦となりました。(先鋒野口聖乃、次鋒藤井野乃子、五将高木夏海、中堅吉田真衣、三将前香苗、副将至極英代、大将岩脇律子、監督岩脇司) 事前の強化稽古会には、選手・監督に加え中明美、荒川真紀子ら女性指導者も参加して、試合に向けての稽古を行い、信頼感も高めることができました。大会では、佐賀県に惜敗。強い選手でそろえてくるチームもありますが、石川県チームのモットーは、「監督の采配のもと、互いを信じて、いつも通り戦うこと」と、それを実行することで全国

特集記事

- 1頁「女性の活躍」女性委員長
- 2頁「全国大会での経験」宝達中
- 5頁「郡市剣道紹介コーナー」
輪島市、鳳珠郡剣道連盟

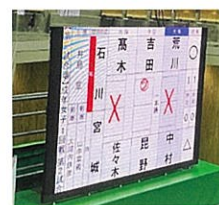
強豪チームとも対等に戦えることを確認できた大会となりました。※中堅吉田選手は、ご主人とご家族の献身的な協力のもと、0才児のお子さんを連れての参加、大健闘でした。

三 いちご一会とちぎ国体



8月の北信越国体優勝、本国体の出場権を獲得しました。(先鋒高木夏海、中堅吉田真衣、

大将荒川真紀子、監督岩脇律子) 県外遠征はできませんでしたが、本国体前の強化稽古会では、各自が試合を想定し、得意技を中心に技の確認をするとともに、実践的な地稽古を行うことができました。コンディショニングなどの確認もできました。本国体、宮城との一回戦は、選手・監督・コーチが一



丸となって、3人で相手より1本上回るという目標を見事達成しました。二回戦の対神奈川戦も同様に展開したが、惜敗。しかしながら、成年女子始まって以来初の五位入賞を果たしました。※本国体も中堅吉田選手は、お子さん連れの参加となり。ご主人、ご家族はもちろん、宿泊先や会場のスタッフにも大変お世話になりました。

四 女性研修会

10月小松市武道館に、岩脇司八段を講師に迎え、日本剣道形の講習を行いました。太刀の1本目の構えから一つ一つ教わっていききました。また、打太刀と仕太刀の動作の意味の説明を受けて、理解した上で形を打つことができました。4本目以降は初めてだという方も、



丁寧な指導と仲間にも助けられながら行うことができました。地稽古では、久しぶりに会う仲間と楽しく剣を交えることができました。

【アンケート結果(一部)より】

・初めて剣道形を楽しく稽古できた。
・続きをお願いしたい。

・剣道形の解説で豆知識も教わり、剣道形が好きになった。

・質問がしやすい雰囲気、またの機会に是非参加したい。

・剣道を続けるに当たり、悩みや経験について語り合う場があればと思う。

・申し込み、健康チェックがスマホで完結できたのが便利でした。

・忙しい中、ちよつと行こうかなと思える環境作り。

・女性稽古会の回数を増やしてもよいのでは。

剣道の普及と発展には、男性女性に関係なく、互いに理解し尊重し合える人間関係づくりが不可欠だと考えます。今年度の活躍とアンケート結果等を踏まえ、今後も女性が元気に楽しく稽古できる場の設定と内容の工夫を考えていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



特集

「全国大会での経験」

宝達志水町立宝達中学校

剣道部顧問 三嶋 惇也

八月に北海道釧路市で開催された全国中学校剣道大会において、本校の古本純莉選手が二十余年来の女子個人戦三位入賞を果たすことができました。

その間、前顧問の中井秀人先生や、宝達志水町剣道協会の先生方、彼女の原点である志雄少年剣道教室の先生方をはじめ、多くの方々にご支援を頂きました。そして何よりも本人の努力が実を結び、このような結果を残すことができたことに顧問として心から感謝申し上げます。



全国大会に臨むにあたって特別な取組はしていませんがひたすら毎日面を付け、生徒と竹刀を交えましました。そしてそれは今も変わらず、毎日面を付けて地道な稽古を続けています。

古本選手は日頃の稽古で、自分で考え実践し、工夫を積み重ねる中で力を付けていきました。

県優勝を勝ち取った後の北信越大会直前、目標としている佐藤愛海選手(新潟県小針中学校)と戦うことを目指し、稽古に励みましたが、諸事情により大会への参加が叶わず、本人は「もう戦う機会はない」と自宅で悔し涙を流していたようです。

しかし、その失意からも立ち上がり、健気に稽古を重ね、迎えた全国大会では初戦から最大の武器である出ばな面を粘り強く決め、ベスト8まで駒を進めました。その勝負強さに監督席で心が震えたのは今でも覚えています。

迎えた準々決勝では、目の前で佐藤愛海選手が一足先に準決勝進出を決め、古本選手が勝てば、念願の対戦が実現する状況になりました。その状況下で気合が入ったのか、準々決勝では二分足らずで圧巻の二本勝ちを収めました。そしてそれは北信越で実現しなかった目標選手との対戦が北の大地で実

現した瞬間でもありました。

準決勝では惜しくも延長戦で佐藤選手に敗れましたが、自分の力を惜しみなく発揮し、頑張る古本選手を見て、私自身が選手の可能性に学ばせていただきました。

大会終了後、自分の中学時代の恩師である北橋明伸先生からは「結果が出た時こそ謙虚に」とご助言を頂き、高校時代の恩師である田畑武志先生からは「勝って兜の緒を締めよ」と身の引き締まるお言葉を頂きました。その言葉を胸に、今大会での経験を活かしつつ、目の前の生徒の人間性と剣道の向上、そして中体連剣道部の発展を支えられるよう微力ながら努めてまいります。



居合道段位審査会

居合道委員会

8月7日(日)、白山市啓武館剣道場において「令和4年度居合道段位審査会」が開催されました。合格者は、次の皆さんです。



【初段】

- 松田景子 (七尾)
- 佐藤明子 (七尾)
- 遠藤春美 (七尾)
- 寺西亮子 (七尾)
- 高山秀峰 (七尾)
- 藤田利一 (七尾)
- 梅平進 (七尾)



【二段】

- ビットマンティーム (県武)
- 湯浅愛美 (小松)

【三段】

- 菅田匠 (県武)
 - 山下修二 (小松)
 - 鵜島豊正 (内灘)
- 午前中は、「令和4年度居合道伝達講習会」が行われました。

杖道段位審査会

杖道委員会

11月6日(日)、金沢市旧野町小学校体育館において、「令和4年度石川県・富山県合同杖道段位審査会」が開催されました。合同審査会は一年ごとの持ち回りで、今年度は石川県の開催となりました。受審者は、初段8名、二段5名で本県合格者は次のとおりです。



【初段】

- 山本要 (白山)
- 須田美佐江 (金沢)
- 安江正紀 (小松)
- 大田政信 (白山)

【二段】

- 山本友子 (白山)
- 坂上千種 (小松)
- 大島卓晃 (河北)

午前中は「杖道講習会」も行われ、受審者を含めて20名が受講しました。

秋の剣道講習会

普及委員会

秋の剣道講習会が、10月30日(日)能登会場で、11月13日(日)金沢会場で開催されました。コロナ禍にあつてまだまだ試合や稽古にも制限がある中、今回は審判法を中心に丁寧な指導をいただきました。また、最後には講師による指導稽古も行われ、多くの参加者にとっては非常に充実した講習会となりました。



ナ禍にあつてまだまだ試合や稽古にも制限がある中、今回は審判法を中心に丁寧な指導をいただきました。また、最後には講師による指導稽古も行われ、多くの参加者にとっては非常に充実した講習会となりました。

た、最後には講師による指導稽古も行われ、多くの参加者にとっては非常に充実した講習会となりました。

【能登会場 (七尾市武道館)】

- 審判法
- 主任講師 杉本卓也 教士八段
- 補助講師 中越顕治 教士七段
- 補助講師 竹田芳幸 教士七段
- 補助講師 星野敏之 教士七段
- 指導法
- 主任講師 宇波和彦 教士八段

【金沢会場 (松任啓武館)】

- 審判法
- 主任講師 岩脇 司 教士八段
- 補助講師 山田立司 教士七段
- 補助講師 松田信一 教士七段
- 指導法
- 主任講師 宇波和彦 教士八段



令和四年 稽古納め

12月25日(日) 県立武道館において、令和四年一般財団法人石川県剣道連盟稽古納めが行われました。10時から行われた式では、南信廣会長から一年間を振り返り連盟の運営に対し、傘下の各団体をはじめ会員の皆様から多大なご協力をいただいたことに謝辞がありました。

また、ウクライナ情勢、コロナ感染症、物価高等混沌とした社会情勢が続いている中、連盟の大会・行事が粛々と滞りなく実施でき、会員の皆様には年末年始を穏やかに過ごされ、令和五年がコロナも収束し希望輝く良き年になるよう祈念しますと挨拶がありました。

なお、式に先立ち9時から行われた居合道の稽古納めには20人の会員が参加し真剣が寒気を切り裂く音を響かせていました。



式の後、一年間の締めくくりとして剣道の稽古で汗を流しました。また、稽古に先立ち会長より次のおとまり表彰状の伝達・授与がありました。



(公財) 全日本剣道連盟より

【剣道有功賞】

・小浦克彦 (輪島市剣道連盟会長)

【少年教育奨励賞】

・千代野剣道スポーツ少年団



(二財) 石川県剣道連盟より

【少年剣道教室指導者】

地域の少年剣道教室指導に尽力
 ・浅野榮一 (松南剣道スポーツ)
 ・前田勇夫 (芳斉剣道スポーツ)
 ・竹田芳幸 (高松少年剣道)
 ・北江克伸 (邑知少年剣道)



【会長表彰】

全国大会成績優秀者
 全国中学校剣道大会女子個人
 3位
 ・古本純莉 (宝達中3年)



国民体育大会成年女子第5位
 ・高木夏海 (緑中学校教諭)
 ・吉田真衣 (星稜高校教諭)
 ・荒川真紀子 (北陸朝日放送)



全国青年剣道大会男子個人
 3位
 ・坂口 尚 (羽咋小講師)



誠にありがとうございました。

特集

郡市剣道連盟

紹介コーナー

輪島市剣道連盟

山岸 豊和

輪島市剣道連盟は、輪島地区と門前地区とで活動しています。

輪島地区では、毎週火・木曜日は十九時から、毎週土曜日は八時半からの週三回、輪島中学校武道場にて活動しています。

門前地区では、毎週火・木曜日は十八時から、毎週日曜日は九時から、週三回、輪島市門前道館にて活動しています。

両地区とも、小学生から一般までが一堂に会し、笑いの絶えない大変和気藹々とした雰囲気です。

特に今年度は、仕事の都合で他地区から輪島に赴任された方や、



学校を卒業し輪島に戻られた若手の方々などの愛好者も数多く参加し、近年にない大変充実した稽古をいただいています。

当連盟では、毎年十月に「輪島市民剣道大会」、三月に「輪島市門前町剣道大会」という二つの大会を行っています。



努力の成果を発揮する機会として、大変貴重な役割を担っています。

しかしながら、近年は少子化の波がこの奥能登の地では特に激しく、小学生においては、教室生が学年一人いればいい方であり、チーム編成もままならない状況が続いています。

この現状を打開すべく、当連盟では募集チラシの配布はもちろん、若手を中心にソーシャルネットワークを用いた情報の発信を行うな

ど、新たな波が起き始めており、大変心強く感じています。互いに切磋琢磨することによる自身の精進はもちろん、明日の輪島の剣道界を担う若者を一人でも多く育てていくことも、先達の大切な任であることを心に留め、今後も連盟員一丸となって積極的に活動していきます。

鳳珠郡剣道連盟

東 秀和

鳳珠郡剣道連盟は、穴水町剣道協会と能登町剣道協会で構成されています。

穴水町では、毎週月・水・金曜日午後六時から八時まで穴水町B G体育館にて、少年剣道教室の練習を兼ねて一般の稽古を行っています。中高校生も合わせると多い時で二十人程度の剣士が集まります。また、毎年町民剣道大会を開催して、練習の成果を披露する場を設けています。

能登町では、一般の稽古会は、毎週水曜日午後七時から内浦第二体育館にて行っています。また、毎月第四土曜日の午前九時より能登町内小、中、高校生及び一般を



対象として合同稽古会を実施しています。珠洲市内の中、高校生及び他地区の一般でも参加可能で、毎回二十人から三十人の剣士が参加しています。

郡内では、少子高齢化が急速に進んでいて、なかなか剣道人口が増えないという状況ですが、近年鳳珠郡剣道連盟から七段四名、六段六名を輩出しており、なんとか地域の剣道の灯を消さないようにと頑張っております。

この地域には、穴水、柳田、能都雄志館、畠山武道館の四少年剣道教室および穴水中学校、能都中学校、松波中学校の剣道部があり、連盟員が指導に携わっています。今後も、交剣知愛をモットーに自己研鑽と後継育成を目指して努力していきたいと考えております。

「全国青年剣道大会」に参加して

中能登町

細川 雄平

11月11日から13日にかけて、東京都綾瀬市で開催された全国青年大会に、石川県代表として出場させていただきました。

剣道競技の部には、全国から31チーム127名が出場しており、どのチームも、各都道府県予選を勝ち抜いてきた、または選抜されたの出場ということで、非常にレベルの高い選手が揃っている印象を受けました。



開会式では、偶然にも石川県チームが会場中央に整列することとなり、石川県の代表として身の引き締まる思いでした。また、全国の舞台でしか味わうことのできない独特の緊張感と期待感を久々に感じることができ、嬉しくもありました。

残念ながら1日目の団体戦においては、男子チームが一回戦で東京都に敗退、女子チームが二回戦で茨城県に代表決定戦の末敗退と、男女共に悔しさの残る結果となりましたが、選手全員が全力を出し切ることができ、とても清々しい気分です。試合を終えることができました。

2日目の個人戦では、男子チームの坂口尚選手が見事三位入賞を果たしてくれました。初戦から落ち着いた試合運びで勝ち進み、優勝候補選手を破つてのベスト4進出ということで、非常に価値のある素晴らしい結果だったと思います。

話は変わりますが、石川県チームは、初戦の相手チームに石川県のお土産を渡すのが恒例行事となっており、今回も男女チーム共にお土産を渡すことができました。団体戦の試合直後というタイ

ミングではありましたが、相手チームには大変喜んでいただき、とても和やかな雰囲気になったことが印象に残っています。全国青年大会は、「全国各地で活動する若者たちが交流し、友情を深め、地域社会におけるスポーツと文化の裾野をひろげる」ということを目指しており、このような意味合いからも、石川県チームの恒例行事は、今後も続けていくて欲しいと感じた出来事でした。

今回の全国青年大会出場を通して、石川県チームメンバー同士で親睦を深めることができたこと、全国から参加している他のチームと交流を図れたことは、今後剣道を続けていく上でも大きな財産となりました。そして、もう出場することはないだろうと思っていた全国大会に34歳という年齢で出場することができ、本当に貴重な経験をさせていただきました。今回の経験を自分だけのものにはせず、普段指導している剣道教室の子供たちにも伝えていきたいと考えています。

「ねんりんピックかながわ2022」に参加して

監督 坂下 弘 (金沢市)



コロナ禍により、三年ぶりの開催となった「第34回全国健康福祉祭」が、昨年11月12〜14日の間、神奈川県伊勢原市において開催されました。六十歳以上を対象に、健康の増進と生きがいの高揚を目的とするこの大会に本県代表として参加させて頂いたメンバーは、年次別県予選を勝ち抜いた次の五名です。

- 先鋒 東 純一 (能美市)
- 次鋒 中川 泰一 (金沢市)
- 中堅 内田 健二 (金沢市)
- 副将 山辺 哲夫 (中能登町)
- 大将 大浦外志男 (金沢市)

大会は参加67チームが16ブロックに分かれ、リンク式リーグ戦二試合を行い、一位が決勝トーナメントに進出します。一回戦（札幌市）3対1、二回戦（宮城県）2対1で2勝したものの、対戦の無かった栃木県に勝者数で及ばず、前回の「和歌山大会」に引き続き無念の涙を吞みました。

本大会に出場した全国の選手は年齢を感じさせない身のこなしと長年培った剣道の心、円熟した剣捌きから一寸足りとも気を抜かない二の太刀、三の太刀を繰り出す試合が随所に見られました。本県選手も個々のポジションを自覚した全身全霊の試合を展開してくれました。監督の力量不足から勝利の女神が微笑んでくれなかったことが心残りとなりました。

本大会での最高齢者は男性八十七歳（秋田県）、女性六十四歳（山形県）の方で、凜として威風堂々たるお姿には、我々もまだまだ頑張れるぞと刺激を頂きました。

また翌日には、予選敗退の無念を晴らすため「鎌倉殿の13人」縁の地、鶴岡八幡宮や江ノ島方面を散策し、本年開催の伊予の国、愛媛県での活躍を祈願しました。

人生百年、生涯現役が謳われる

今日、『健康維持』と『生涯剣道』を目指し、本県が取り組んでいる月一回の「ゆーりんピック稽古会」に参加してみませんか。きつと素晴らしい第二の人生が開けると思っています。

中央審査合格体験記

「剣道七段に合格して」



白山市 上村 康夫

この度、秋の審査会（名古屋）で初回受審にて七段の合格をいただきました。県剣連の先生方、特に火曜日、土曜日の県剣連稽古会に参加される先生、また、日本剣道形の指導及び相手を努めて頂いた二塚良一先生には深くお礼申し上げます。

やってきた事

私は剣道の素質も技量も乏しい中、諦めずコツコツと続けることだけを掲げて稽古してきました。

- 受審に当たり心掛けたことは、
- 気迫を前面に出し合気になる
- 構えを我慢をし崩さず攻める
- 不要な力を抜いて丹田に気を入れる
- 肩を使った面打ちを意識する
- しかし、先生方にご指導を受けるもなかなか身に付かず、悩ましい日々が続きました。

コロナ禍にて

稽古の質・量ともに思うようにならず、出来る事を積み重ねようと思いました。県立武道館、鶴来武道館の空時間には、鏡の前で振り足、踏み込み足での空間打突をしました。

また、剣道の指導書を繰り返し読みました。精神面は佐藤博信先生の上級者の剣道、技術面は末野栄二先生の剣道秘訣です。

更に、自身が六段に合格した時のビデオを見て修正点の確認をしました。市販の七段審査ビデオは繰り返し見ることで、審査のイメージづくりへと繋がりました。

当日の立ち会いについて

私は午後からの受付でしたので、外で2時間ほど待ち時間がありました。

- 入念にやり、会場に入ると素振りもできず、日本剣道形を頭の中で何度もシミュレーションしました。
- 教えて頂いたことは、
- 不必要な力を極限まで無く
- 構えを確認する
- 大きな掛け声を掛けて相手を合気させる
- 間詰めて攻めたら、無心で体が反応してくれることを信じる
- 相手を切るために攻め入り切る

結果は自分の力を100%以上出す事ができました。

これから

昭和の剣聖といわれた持田先生が五十歳まで基本をやられたと聞き、私は一生基本を続けねばと思えました。合格の報告に伺った際、末平佑二先生より「七段になると元に立つ機会も出てくるから引き出して打つことを覚えなさい」とお言葉をいただきました。

私にとつては、あまりにも大きな課題ですが、次の目標として取り組み、真の七段目指しこれからも稽古に励みたいと思います。

【全国大会等記録】(7~12月)

◎第43回北信越中学校剣道大会

8月5日、長野県立武道館(佐久市)
◇男子団体決勝トーナメント
▽準々決勝
宇ノ気 ③-0 美方(福井)
鯖江(福井) ②-1 羽咋

▽準決勝
宇ノ気 ②-1 鯖江(福井)
▽決勝
小針(新潟) ③-2 宇ノ気
◇女子団体決勝トーナメント
▽準々決勝
宇ノ気 ④-0 燕(新潟)

▽準決勝
宇ノ気 ④-0 小針(新潟)
▽決勝
宇ノ気 ②-1 松代(長野)

◇男子個人
第二位 永原秀悟(羽咋)
第五位 藤井啓士朗(芦城)

◇女子個人
第三位 高平佳奈(宇ノ気)
第三位 中農 陽(宇ノ気)

◎第69回全国高等学校剣道大会

8月5~8日、春野総合運動公園
◇男子団体▽予選リーグ
金沢桜丘 ②-0 中京(岐阜)

金沢桜丘 ③-0 興南(沖縄)
▽決勝トーナメント一回戦
島原(長崎) ③-0 金沢桜丘

◇女子団体▽予選リーグ
東海大札幌 ③-0 金沢桜丘
明石(兵庫) ③-1 金沢桜丘
◇男子個人
指本悠稀(金沢桜丘) 三回戦敗退
新田翔吾(羽咋工業) 二回戦敗退

◎第64回全国教職員剣道大会

8月11日、長野市真島S・A
◇男子団体(トーナメント)
一回戦 石川 ①-0 熊本
二回戦 石川 ②-1 茨城

三回戦 島根 ②-1 石川
◇男子個人▽一回戦
竹田(島根) メー 久保洗旗
◇女子個人▽一回戦
津野(高知) 不戦勝 西田 有

◎第52回全国中学校剣道大会

8月19~21日、ウインドヒルくしろ
◇男子団体(トーナメント)
▽一回戦
北海道(茨城) ④-1 羽咋

◇女子団体(トーナメント)
▽一回戦
宇ノ気 ④-0 玉穂(山梨)
▽二回戦
宇ノ気 ④-0 大間(青森)

▽三回戦
杵築(大分) ③-1 宇ノ気
◇男子個人
永原秀悟(羽咋) 二回戦敗退
坂本英心(津幡) 二回戦敗退

◇女子個人
第三位 古本純莉(宝達)
高平佳奈(宇ノ気) 一回戦敗退

◎第61回全日本女子剣道選手権大会

9月4日、ジェイテクトアリーナ奈良
▽一回戦
阿部(東京) ツー 大野美月

◎第68回全日本東西対抗剣道大会

9月18日、神戸市立中央体育館
杉本卓也メメーメ 原(福岡)

◎第77回国民体育大会(とちぎ国体)

10月3~5日、栃木県総合運動公園
◇成年男子
一回戦 大阪 ②-2 石川

◇成年女子
一回戦 石川 ①-0 宮城
準々決勝 神奈川 ②-0 石川
※石川 第5位

◇少年男子
一回戦 宮崎 ⑤-0 石川
◇少年女子
一回戦 岩手 ①-0 石川

◎第70回全日本剣道選手権大会

11月3日、日本武道館
▽一回戦
後藤拓真 トー 地白(北海道)

▽二回戦
後藤拓真 コー 西村(熊本)
▽三回戦
山下(三重) コー 後藤拓真

中央審査会合格者

◇剣道

▽七段 篠井皓太 上村康夫
▽六段 大原寅光 山岸豊和
▽六段 山本真也 竹内一浩
▽錬士 蓮本義哲 北江克伸
本田仁美 岡田浩之

◇居合道

▽七段 北川裕美子
▽六段 越野美喜 源美奈子
▽錬士 西村真人

林藤武道具店

〒920-0803 石川県金沢市神宮寺町1番地83
Tel.076-252-2220 Fax.076-252-2240
HP <http://www.rindoubudou.jp/>
E-mail:budou@chive.ocn.ne.jp

●定休日/月曜日

【営業品目】
剣道・柔道・空手・なぎなた・武道具全般
(刺繍・ゼッケン・ネームプリントも承ります)



武道具の
ハシモト

金沢市上荒屋7丁目67 TEL 249-8233
〒921-8065 FAX 249-9139